

## 平成21年度実施メニュー優良事例

局	流域名	流域番号	取組名 (新規・継続・拡充)	取組の概要
北海道	十勝	1	地域エネルギー資源(木質燃料)の利用普及の推進(継続)	森林管理署管内の土壌等に散在する端材及び末木枝条を、ペレット材、土壌改良材、木炭などの原料資材として販売するとともに、木質エネルギーの利用拡大に向け普及啓発用のパンフレットを地元町を通じ配布した。
	釧路根室	10	流域市町村との意見交換会議(継続)	地域ニーズを捉えた事業運営に資するため、流域を4ブロックに区分し、流域市町村(林政担当)等と当該流域森林事務所(森林官)との意見交換会を実施した。
	釧路根室	10	緊急雇用対策への支援(新規)	厳しい雇用情勢を受けて、地元町が実施する冬期雇用対策事業に国有林のフィールドを活用することとし、地元町と協定を締結し、森林環境整備を実施した。
	宗谷	11	森林施業現地検討会の開催(継続)	森林施業に対する民有林と国有林の相互理解を深めるため、高性能林業機械による作業システムの必要性、列状間伐の普及・定着、間伐材を活用した低コスト路網の整備状況について、国有林の現場等を活用しながら情報交換、現地検討を行った。
	後志胆振	4	低コスト・高効率な作業システムの普及(継続)	国有林のフィールドを利用して、低コスト作業路作設(表土ブロック積み工法)の現地検討会を実施し、高効率な作業システムの情報を林業関係者へ提供した。
	網走東部	12	知床自然の森林づくり協働モデル事業の推進(継続)	国民参加の森林づくりの一層の促進に資するため、知床森林センターがコーディネイト役となり、ボランティア団体、教育機関、企業等多様な主体の参画の下、協働型の「知床自然の森林づくり」をモデル的に企画・実践し、当該成果を発信・普及した。
東北	馬淵川上流	22	間伐材の利用促進と木材の安定供給(継続)	平成21年6月、林業・林産業関係者に年間の立木・素材の供給見通しの説明会を開催。年間計画に基づき、合板工場等へ約500m3を供給、治山ダム型枠(木製型枠パネル)等への木材を約600m3(素材換算立)を使用した。
	置賜	28	「置賜公益の森づくり協議会」と連携した地域材の利用促進(継続)	置賜公益の森づくり協議会等と連携し、地域材の消費拡大と安定的な木材の供給を推進するため、シンポジウムの開催、低コストでの木材生産に向けた列状間伐検討会を開催した。
	三八・上北	15	緑の雇用対策への協力(新規)	緊急雇用対策により林業への就業・定着を目的とした「緑の雇用担い手対策事業」に対し、林業事業者の育成を図るためにも積極的に支援することとし、平成21年度も林業事業者から3件の申請があり、それぞれ森林整備等の実施協定を締結し、フィールドを提供した。
	米代川 (米代東部)	26	林業技術の普及啓発に向けたフィールド整備(継続)	平滝スギ人工林施業モデル団地における作業道等案内図の設置 フォレスター等連絡会議における育成複層林施業等促進のための現地検討会開催
	北上川中流	19	地域連携による路網整備の推進(継続)	国有林間伐箇所をフィールドに低コスト作業システムの現地研修会を実施した。また、研修会以外でも各方面から列状間伐、低コスト路網作設箇所等の視察を受け入れ、国有林での列状間伐実施箇所を公開するとともに、流域活性化センターや岩手県と連携して、民有林・国有林の現場で研修会・検討会を実施した。
	津 軽	14	「ぶな巨木ふれあいの径」の整備(継続)	平成21年8月27日、地元自治体、ボランティア団体等と連携し、「マザーツリー」の愛称で知られる「ぶな巨木ふれあいの径」の整備を環境保全型素材により簡易舗装し、車イスで利用できるよう整備した。観光客やガイド団体等から、国有林の取組を理解された。
関東	磐城	32	計画的な木材供給の推進(継続)	県、市、森林組合、素材生産業者、チップ業者に参加協力要請を行い、管内の国有林において、効率的にバイオマス資源を集荷するため、専用コンテナによる回収システムの現地見学会を実施した。
	佐渡	54	トキの営巣木等保全整備事業(拡充)	関係機関と連携し、トキの試験放鳥にあたって、松食い虫被害木調査、営巣候補木への樹幹注入等を実施した。
	吾妻	42	安全巡視、労働安全意見交換会(継続)	①労働基準監督署、県、請負事業者と連携し、請負事業者の労働災害の未然防止を図るため安全巡視を実施した。②請負事業者との労働安全意見交換会を実施した。
	鬼怒川 渡良瀬川 那珂川	38 39 40	クマ被害総合対策事業(新規)	近年、クマによる樹木の皮剥被害が増大しており、各種のクマ被害防止対策を実施した固定プロット(1ha×18箇所)を設定して被害状況把握調査を実施し、学識経験者等による検討委員会を開催した。
	会津	34	低コスト路網整備検討会(新規)	流域林業活性化センターと連携し、四万林業のオペレーターによる「低コストで壊れにくい作業路網の作設講習・実演」及び意見交換を実施した。
	伊豆	77	植生回復事業(継続)	県、市、ボランティア団体等と連携し、皮子平マメザクラの保護再生活動として、①モニタリング木の経過観察、②シカの食害防止のために設置した防護柵内の状況観察等を実施し、実生苗木の取り組みを行った。
中部	木曾川	73	地域材利用の推進PR(継続)	林業・木材産業者が協力して産直住宅などの地域材利用推進に取り組んでいることから、森林管理署も連携して木曾ヒノキ林の見学会等を実施した。
	中部山岳	65	森林整備推進協定の締結(継続)	民・国連携による森林整備を行うため、松本市奈川地区において森林整備推進協定を締結した。
	東三河	78	「漁民の森林づくり活動」の推進(継続)	平成14年度に植栽した造林地の整備活動を支援するため、NPO・県・市等の6団体と連携し、高校生・漁業関係者を迎え、除伐作業体験を実施した。

## 平成21年度実施メニュー優良事例

局	流域名	流域番号	取組名 (新規・継続・拡充)	取組の概要
中部	伊那谷	67	地元大学等と連携した森林・林業の普及啓発(新規)	森林・林業に関する普及啓発を図るため、地元大学・地域住民と連携し、歩道整備、森林散策、森林教室等のイベントを開催した。
	木曾谷	68	簡易作業路を利用した木材搬出(継続)	国有林をフィールドとして、林業活性化センター等と連携し、高性能林業機械の効率的な活用及び低コスト作業路開設の現地検討会を開催した。
	神通川	55	外来種及び低地性植物除去ボランティア作戦(継続)	中部山岳国立公園内において、ボランティア団体等と外来種及び低地性植物の除去作業や立入規制ロープの設置、自然保護意識の啓発等の保護活動を実施した。
近畿 中国	高梁川下流、旭川、吉井川	107	木質バイオマスと連携した低質材利用の促進(拡充)	「バイオマスタウン構想」を展開する真庭市、津山市と情報交換を行い、林地残材等低質材のを試行的に販売
	高梁川上流、江の川上流	108	民有林・国有林による森林施業の共同実施(継続)	2箇所(H21.7.13「藤野呂知己森林整備協定」、H21.8.4「甲野村山地域美しい森林づくり推進協定」)の民国連携森林共同施業団地の設定
	紀南、紀北、紀中	97	民国連携による低コスト林業の推進(継続)	和歌山県、県森連と連携して、低コスト作業システムの技術向上のための研修会等を開催
	揖保川	90	低コスト林業モデル林の設定(継続)	高性能林業機械と高密度路網を組み合わせた低コストモデル林における低コスト搬出システム指針の分析及び普及用のパンフレット、標柱を作成
	淀川上流	87	古都京都におけるマツ林の再生(継続)	京都府、森林総合研究所、京都府林業試験場等と連携し、マツ林再生に向けた除伐、地掻きを実施するとともに、抵抗性松の里親制度を実施
	大和・木津川	92	「古事の森」の普及宣伝	二つの「古事の森育成協議会」の開催と、下刈りイベントや普及啓発イベントを実施
四国	吉野川、那賀・海部川	116 117	徳島県産材の需要拡大・間伐材PR等木材利用の促進に資する取組(新規)	徳島県等と連携したWOODキャラバン隊に局販売課とともに参加し、県内各市町村役場等に出向き地域材の利用拡大のためのPR活動を実施した。
	嶺北・仁淀	125	民・国連携による森林整備等の推進(新規)	平成21年8月、民国連携による森林整備の推進のため住友林業(株)と森林共同施業団地の協定を締結した。
	吉野川、那賀・海部川、香川、安芸、四万	116 117 118 126	緑の雇用担い手対策事業への協力(継続・拡充)	緑の担い手対策事業の研修実施のため、国有林野フィールドの提供を行うとともに、安全指導等を実施することにより林業従事者の育成と確保の取組を支援した。
	安芸	126	インターシップ推進事業の受け入れ(新規)	高知県内の高校生を対象としたインターンシップ制度を活用し、管内の千本山山林木遺伝資源保存林において、千本山登山と併せて地域の貴重な天然林である魚梁瀬スギ等の管理経営方法、森林の役割について説明するなど、森林・林業技術に関する普及・啓発に取り組んだ。
	四万十川	127	民国連携した低コスト作業路作設研修の実施(新規)	平成21年3月に四万十町長との間で締結した、低コスト作業路作設研修のための国有林フィールド提供に関する協定に基づき、局森林技術センターが研修フィールドまでのアクセス作業路を整備し、請負事業者等を対象とした局主催の研修及び四万十町主催の研修を実施した。
	今治松山	123	皿ヶ嶺散策路の樹名板設置(新規)	平成15年に登山道整備、樹名板設置を行ったが、経年による腐朽等による汚れ、退色が著しく登山者等から整備要求が出ていたことから、樹名板を更新した。
九州	熊毛	154	スギ人工林材の銘柄化(継続)	民・国一体となった島外出荷等の取組を推進するとともに、併せて森林・林業活性化センター等と連携して、木材のブランド作りを進めるための意見交換会を実施した。
	球磨川	137	森林共同施業団地の設定(新規)	民有林関係者(3者)と協定による森林共同施業団地を設定し、民・国連携して間伐の森林整備推進等を効率的に推進するための取組(現地検討会の開催等)を行った。
	熊毛	154	緑の雇用担い手対策事業への協力支援(新規)	林業事業者が、緑の雇用担い手対策事業により職員を養成していることから、フィールドの提供など、積極的な支援活動を行った。
	五ヶ瀬川	145	林業技術向上の取組(継続)	針混交林へ誘導するために、地元の林業関係者等により林分の空いた箇所へ広葉樹を植栽するとともに、広葉樹の侵入状況等について、意見交換を行った。
	五島舌岐	136	簡易で壊れにくい路網の整備・普及(新規)	森林・林業活性化センターが主催する簡易で壊れにくい路網研修等のフィールドとして国有林を提供するとともに、講師等を派遣して路網作設方法の検討会を支援した。
	遠賀川福岡	129 130	ボランティア植樹等への支援(継続)	海岸線において、ボランティア団体が行う松の植樹や除伐等の体験林業への支援を実施した。また、併せて小、中学生を対象に森林環境教育を実施した。